



導水施設は、鉄道一体区間約12km、延長約16kmの地下トンネルと取水口、導水機場、駅舎内施設、分水施設からなります。



縦軸うずまきポンプを採用し、省スペース化により建設費を低減しています。また、導水量はポンプの回転数制御により流量制御を行います。

地下鉄の各駅では、駅管理システムによりモニターでの監視を行っています。

浄化用水を綾瀬川方向と芝川方向へ
分水するための施設です。

(鉄道一体区間)
導水管と鉄道線路がひ
とつのトンネル(シールド)
内に建設されています。

導水管が設置された単独トンネル部分であり、シールドマシーンにより施工しました。

さいたま市下野田地先より
1.17m³/sを放流します。

さいたま市下野田地先より
0.60m³/sを放流します。

川口市新井宿地先より
0.12m³/sを放流します。

さいたま市南部領辻地先より
1.11m³/sを放流します。